



滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しに向けた地域ワーキングを開催

このたび滋賀県では、平成30年3月に公表した『滋賀県道路整備アクションプログラム2018』の見直しを実施することになりました。高島土木事務所では、11月1日に第3回高島地域ワーキングを開催しました。

◆◆◆ 第3回地域ワーキング開催概要 ◆◆◆

【日時】 令和4年11月1日（火）
14:00～16:00

【場所】 高島合同庁舎 2階2-A会議室

▶ 地域ワーキングの目的

高島土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、色々な立場の方から意見をいただくことを目的とする。



アクションプログラム策定スケジュール

第1回
ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見をいただきました。

第2回
ワーキング

第1回WGでいただいた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、意見をいただきました。

第3回
ワーキング

「地域の声」「地域の重点項目」の報告、個別路線の代表候補箇所を提示し、意見をいただきました。

今回

第4回
ワーキング

アクションプログラム2023(案)を提示し内容について意見をいただきます。

アクションプログラム2023策定
(令和5年3月予定)

「地域の声」「地域の重点項目」の提示内容

1 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

地域の交流人口の拡大を促し、観光振興の推進、経済活動の活性化、若者の定住等を促す道路整備の積極的な取り組みが重要です。具体的には、限られた路線に集中する交通の渋滞対策や、生活交通と通過交通の分離、福井方面との連携も見据えた交流ネットワークの構築など、より地域の魅力や活力を高めるまちづくりへとつながる道路整備の推進が必要です。

2 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

豪雪や地震等の大規模な災害は、市民の生活に大きな影響を及ぼすため、広域連携による避難・支援・復旧ルートの確保が急務となります。特に高島地域では、災害時の緊急輸送や救急搬送だけでなく日常交通や物流交通、観光交通についても国道161号への依存度が非常に高いため、当該道路が寸断された場合の代替路を確保し、災害時においても人・物資・情報の広域的かつ円滑な流れを構築できる災害に強い道路網の形成や整備が重要です。

3 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

誰もが安全に、安心して快適に移動できる歩行空間の確保が重要です。特に、高齢者や障害者・通学児童や園児も含めた子ども・観光客に対する安全確保、冬期の積雪対策、除草なども含めた適切な維持管理といった、地域の課題を踏まえた施策の推進が必要です。

4 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

今後の道づくりには、住民の主体的な取り組みや地域の意見を計画に反映させるとともに、道路整備に関する取り組みについて広くPRしていくことも重要です。特に、道路の維持管理活動は、地域住民、行政（県・市）、警察などの交通関係機関等との連携・協働の強化が重要であり、地域の誰もが「我が道」として誇りと愛着を持てる様な道づくりの推進が必要です。

ワーキングでいただいた主なご意見

▶「地域の声」・「地域の重点項目」事務局(案)へのご意見

【全体を通じたご意見】

- ・これまで議論を重ね、委員の想いが集約されている。
- ・地域の人の声はとても大事。
- ・国道161号しかないのが地域の一番の課題であり、地域の声で触れてくれたらよい。
- ・前文で「南は大津地域と結ばれる」とあるが、大津地域に限定せず「京阪神や大津・南部地域と結ばれる」に見直しはどうか。

「地域の声」(案)	「地域の重点項目」(案)
・地域の魅力や活力を高めるための道づくり	・高島地域内外の移動を円滑化する道路網整備

- ・道路が整備されると地域が活性化する。若い人が入ってくるように道路整備を進めて欲しい。
- ・交通アクセスが良ければ地域が活性化し、連鎖的に他の課題解決にも繋がる。また、他府県来訪者向けの分かりやすい案内標識があればよい。
- ・地域の魅力を高めるために、地域内だけでなく地域外の各方面への情報発信が重要。
- ・中部方面から長浜地域への来訪者が高島まで足を伸ばさないのは道路整備が遅れているから。道路整備を進めることにより地域の活性化につながる。

「地域の声」(案)	「地域の重点項目」(案)
・大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築	・緊急輸送道路の整備 ・地域にとって唯一の道路整備

- ・災害時の広域連携に力を入れて欲しい。R161が混雑している状況で、事故があると機能しなくなる。高齢化社会に向けて確実に病院へアクセスできる道路網の整備を。
- ・災害により身動きが取れなくなることも考えられる。う回路(避難路)が分かっていると市民も安心できる。
- ・最近R161は平日も混雑している。琵琶湖側にもう1本の道路が整備されると流通ルートとなり経済活動の一助となる。

「地域の声」(案)	「地域の重点項目」(案)
・安全・安心で魅力的な歩行空間の確保	・集落間連携を支援する道路整備

- ・近江白浜地区の湖周道路の歩道が途切れており、大きな事故が数件発生している。そのような歩道未整備箇所を残さないようにして欲しい。

「地域の声」(案)	「地域の重点項目」(案)
・住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり	—

- ・道路整備は国、県、市が協力し、連携して進めていくものであり、「協力関係を築きます」といった文言があってもよいのではないか。

【その他】

- ・舗装の損傷は順次修繕されており、不満はない。
- ・個別路線の提示がなかったのが残念。
- ・この4～5年で人口構成も変わっており、道の駅でアンケートを実施するなど、来訪者の属性や道路のあり方を調査されてはどうか。
- ・交通安全や災害対策への高度情報通信技術の活用を盛り込んでどうか。



◆◆◆ 地域ワーキング委員(敬称略、五十音順) ◆◆◆

饗庭 正昭 [公募委員]	藤田 幸典 [高島警察署交通課 課長] (欠席)
今村 忠彦 [NPO法人SMSA 持続可能 管理協会びわこ 理事長] (座長)	(藤田 伸也 [高島警察署交通課 巡査部長] (代理出席))
小崎富美子 [高島交通安全協会 副会長]	前川 為夫 [びわ湖高島観光協会 会長]
福田 久司 [高島市商工会 会長]	松本美和子 [介護保険認定審査委員 介護保険事業計画等策定委員会 委員]
	柳生 徹 [高島市都市整備部 部長]

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング
～高島地域ワーキングニュース～ 2022年12月発行

【編集・発行】 滋賀県高島土木事務所道路計画課

〒520-1621 高島市今津町今津1758 TEL:0740-22-6052 FAX:0740-22-3318

E-mail: ha37100@pref.shiga.lg.jp URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/douro/328552.html>

議事録URL
はこちら

